

# 「新たな出会い」(学級開き)

## 小6学級活動(4月)授業実践プログラム1

### 1 題材設定の理由

#### (1) 活動内容・項目

- ☆ 主たる内容・項目  
    <(2) 日常生活や学習への適応及び健康や安全に関すること>
  - 望ましい人間関係の育成
- ★ 関連する内容・項目  
    <(1) 学級や学校の生活の充実と向上に関すること>
  - 学級や学校における生活上の諸問題の解決

#### (2) 題材設定の背景及び児童の一般的な実態と現状

進級時における新しい友達、新しい担任教師等の学級環境の変化は、子ども達に期待と緊張感あるいは不安の入り混じった心理状態をもたらす。特に、学級編制が行われた場合は、前年度まで同じ学級であった児童が集まり、狭い範囲での人間関係を形成する傾向がみられる。よりよい学校生活への適応を図るために、学年当初の不安を軽減し、児童相互の新たな人間関係づくりやその広がりをもたせることが必要になってくる。

今回は、グループエンカウンターやPA(プロジェクト・アドベンチャー)の手法を取り入れ、ペアやグループ内で友達と関わりながら友達のことを知ったり、協力したりする授業を設定し、より積極的に互いに関わるきっかけづくりを進めたい。

#### (3) 指導法・指導上の留意点

- ① グループエンカウンターの手法を用い、他者理解を促進する演習を体験させることで、互いにコミュニケーションをとりながら、友達理解を進めさせる。
- ② プロジェクト・アドベンチャー(※1)の手法を用い、課題を解決していくことを通し、友達と協力することの楽しさや友達を信頼することの大切さに気付かせる。
- ③ 一時的な体験に終わらせることなく「日常の活動」につなげ、明るく楽しい学級生活への期待をもたせる。

※「信頼関係作りを目指してグループ活動をすることにより、チームワーク、目標設定、問題解決、自己への気付き、他者理解などを学ぶ。」

### 2 指導目標

- (1) 新しい友達との出会いを大切にして、緊張や不安を軽減しながら望ましい関係づくりをスタートすることができる。
- (2) 学級担任の思いや願いを知り、今後の学級生活に見通しをもつことができる。

### 3 指導計画

#### (1) 事前・事後指導

- <事前指導>一朝の会等 ; 本時のねらいと活動の概要を予告し、意欲付けをする。
- <本時>-学級活動 ; 「新たな出会い(学級開き)」の授業を実施する。
- <事前指導>一朝の会等 ; 定期的に演習を行い、他者理解を広げる場面を設定し、関係づくりを進める。

#### (2) 教科指導等との関連

道徳 ; 友達関係のテーマに生かす。  
各教科のオリエンテーション ; 「アインシュタインの言葉並べ」等を活用し、教科学習のねらいや約束事を確認する。

#### 4 指導案 (1) 指導過程

本時のねらい	① 新しい友達との出会いを大切にして、緊張や不安を軽減しながら望ましい関係づくりをスタートすることができる。 ② 学級担任の思いや願いを知り、今後の学級生活に見通しをもつことができる。		
展開	活動の内容	指導上の留意点	評価・資料
導入 (5分)	1 本時のねらいを理解する。 学級担任からの本時のねらいと進め方について話を聞く。	○ 新年度を機に、新しい気持ちで楽しい学級作りをみんなですていこう、本時が「ふれあい」の時間となるようにしよう等学級開きへの担任の思いを伝える。	【評価 1】
展開 (35分)	2 演習を行う。 (1) 仲間探し ① 自分と同じ仲間をさがす。 ② 同じ仲間グループになる。 ③ ①～②を行う。 (2) あなたは名探偵 ① 2人一組で自己紹介する。 ② ジャンケンをする。 ③ 勝った人が先に質問する。質問が当てはまっていたら、該当する項目に1箇所ずつ相手からサインをもらう。 ④ 次に、負けた人が質問する。質問が当てはまっていたら、相手からサインをもらう。 ⑤ 相手を替え、①から④を行う。 (3) 振り返り ○ 友達について感じたことを振り返る。 (4) アインシュタインの言葉 ① 学級担任の「こんな学級をつくりたい」という願いや座右の銘(15から20字程度)を記入した順不同のカード(教室中央の床に置かれたもの)を並び替える。	○ 体を動かしながら、緊張感をほぐす。また、友達との共通点を探し、多くの児童とかかわれるようにする。  ○ 教師がモデリングをする。 ○ 自己紹介やサインをもらう名前は、本名でもニックネームでもよい。  ○ 次のことを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ いろいろな人と出会うために、同じ人に偏らないようにする。</li> <li>・ 探し出されていやな項目は書かないようにする。</li> </ul> </div> ○ 学級担任の願いを込めた言葉を示す。  ○ 完成できなくても、一生懸命考え合っていた姿を賞賛する。	【評価 2】  【評価 2】 ◇ ワークシート  【評価 2】
まとめ (5分)	3 本時のまとめをする。 ・ 活動を振り返り、気付いたことや思ったことを「ふりかえりカード」に書く。	○ これから始まる学級(校)生活への意欲付けを図る。	【評価 3】 ◇ ふりかえりカード

#### (2) 評価計画(評価の観点)

評価1 関心・意欲	○ 本時のねらいと進め方を知り、意欲的に取り組もうとしたか。
評価2 知識・理解	○ 他者理解の演習を通して、新たな友人関係づくりのきっかけができたか。 課題解決する活動を通して、友達と協力することの大切さを理解できたか。
評価3 思考・判断	○ 今後の学級生活や友人関係に希望をもてたか。

## 5 プログラムの展開例

- ◆ 活動場所 教室（机イスを移動して）、体育館、又は、多目的ホールなど
- ◆ 準備物 「あなたは名探偵のワークシート」「アインシュタインの言葉」「ふりかえりカード」

### □ 導入（5分）

- 1 本時のねらいを理解する。



クラス替えになって、新しい友達と新しい出会いをしたよね。ちょっぴり心配だったり不安だったりすることもあるかもしれないね。  
どんな友達がこのクラスにはいるのか、友達のことをたくさん知る時間にしましょう。

### □ 展開（35分）

- 2 演習をする。

## <<仲間探し>>

やり方の説明<約束>

- ① 条件を聞く。
- ② 条件にあった自分と同じ仲間をさがす。
- ③ どんなグループができたか確かめる。
- ④ 選んだ理由を聞いてみる。

## ① どっちが利き手？右手？左手？



左利きの方は、  
天才が多いって  
いうよね。



えー！！  
右利きの方が  
多いね。



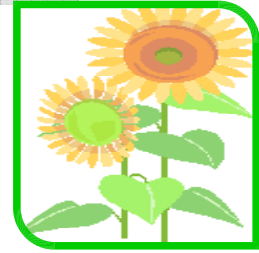
両手利きの方は、  
いるかな？

② 好きな季節は？ 春 夏 秋 冬 ？



あったかくて、桜がきれいだから。

春 はる



夏 なつ

私の生まれた誕生日だから。秋



アイスがうまいから。夏！！



雪合戦ができるよ。子どもは風の子、元気な子。



秋 あき

冬 ふゆ

③ 目玉焼きにかけるもの？？？



塩 こしょう



しょうゆ



ソース



やっぱり、しょうゆでしょう！  
ねえー、そうだよね。

えー、ケチャップを目玉焼きに？  
そういう人もいるんだね。



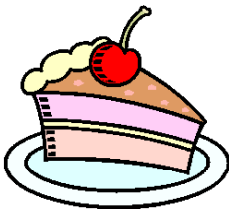
## <あなたは名探偵>>

やり方の説明<約束>

- ① 2人組になりジャンケンをする。
- ② 勝った人が1つ質問し、当たったら相手に名前を書いてもらう。
- ③ 次に、負けた人が同じように1つ質問し、当たったら相手に名前を書いてもらう。
- ④ あいさつをして、次の人と同じように繰り返します。



ねえ おうちで  
犬飼ってる?



う、うーん・・・

えーと、・・・  
ケーキが大好きですか?



もしかして、  
料理するのが好き?

チャーハン  
作れるよ。



3 「仲間探し」と「あなたは名探偵」の振り返りをする。



A：このクラスで、骨折したことがあるのは僕一人だけだなんてびっくりした。

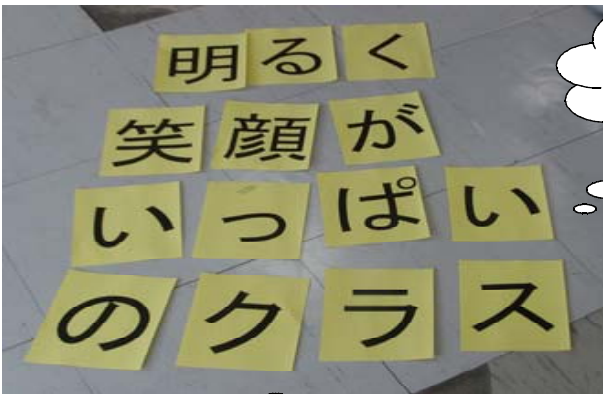
B：14人に名前を書いてもらえた。けっこうたくさんの方のことが分かってよかった。



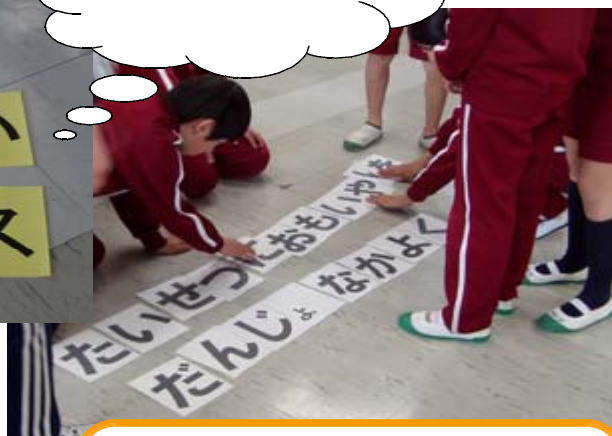
C：「あなたは名探偵」をやって、あまり話さなかった人ともできまし、男の子ともできたので、とてもうれしかったです。

D：みんなは、自分で思っている人とぜんぜんちがくてびっくりしました。みんないろいろな個性があるんだなと思いました。

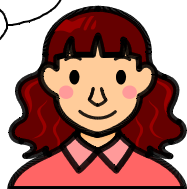
4 アインシュタインの言葉を行う。



すっきり!!



わあ、やった。



先生が、みんなに「こんな子どもになってほしいなあ」「こんなクラスになってほしいなあ」という願いが入っていますよ。

□ **まとめ (5分)**

- 5 本時の活動を振り返り、気付いたことや考えたことを、「ふりかえりカード」に書き、本時のまとめをする。



A：新しい友達もできる希望がもてたし、何より楽しかったです。みんなのこともよく知れて、これから、仲良くしたいと思いました。

B：これから、明るく楽しいクラスにしていきたいと思いました。もっともっと友達のことを知りたいです。またやりたいな。

C：先生の言ったとおり、失敗を恐れないようにしたいです。

**6 児童の反応**

**(1)「ふりかえりカード」から**

- 6年生になって、クラスが替わり新しい人と仲良くできるか心配したけど、この授業をしていろいろな人と知り合えた。
- 初めてこのクラスにきたときは、うまくやっていけるか心配だったけど、この活動を通してみんなのことをいろいろ知れてうまくやる自信がついた。
- 今日の活動で友達のいろいろなことを知ることができた。このクラスで1年間うまくやれると思った。
- 今日の授業は、とても楽しくこれからも友達と仲良くやっていけそうな気がしました。今日と同じように、いつも男女仲良くやっていきたいなと思いました。
- 「あなたは名探偵だ！」は難しかったです。「残念！！」といわれたときは、ちょっとくやしかった。
- 友達のことをいろいろ分かったけど、知っていることも多かったから、けっこう僕は高学年になったんだな—と思った。
- 「アインシュタインの言葉」は、先生の願いが入った言葉で、心に受け止められてよかった。いい言葉だなと思った。先生の思いが伝わってきた。これから、その言葉を大切にしようと思った。
- 友達の知らないところや意外なところなどが分かってびっくりした。これからも、もっと友達のことを知りたいです。

**7 授業者・参観者の感想、授業改善の視点**

- クラスが過去に一緒になったことがあっても、意外に友達のことを知らずにいて今回の学習で新しい発見をし、驚いたり、喜んだりしている子ども達の姿が多くあった。友達のことを知る手立てとしてはよかったと思う。グループで文章を組み立てる作業は、なぞときのおもしろさが加わり、自然と協力体制ができ、なごやかなムードが作れた。
- 「あなたは名探偵」では、ルールを理解し、それぞれ意欲的であった。ただ、はじめは男子同士、女子同士で探していてほとんど男女の交流はみられなかった。時間がたつにつれて、男女で交流するようになってきたので10分から15分は必要な活動だと思う。
- 「あなたは名探偵」では、自己主張の強い子が意外にいろいろな友達と接し、穏やかに過ごしていた。また、活動の初めはきょろきょろして自分から話しかけられ

ないおとなしそうな子でも、だんだんに自分からかかわりを持って活動に参加している様子がみられた。普段少し冷めた感じの表情の子にも笑顔がみられた。積極的に「ジャンケンしよう」と自分から相手に声をかけて、いろいろな友達と多く関わることができてよかったと思う。どんどん活動が広がっていく様子がみてとれた。

- 「Aさんがハリーポッター好きだったなんて知らなかった」など、新しい発見があって、親交が深まったようである。「自分のことも分かってもらい、友達のことでも分かった気がした」という意見が多かった。
- アインシュタインの言葉は、男女関係なく男女がまざりあって活動でき、交流がもてた。これから、やっていけそうという見通しをもたせることができた。
- 「わたしは名探偵」は、30人程度学級には、15分くらいないと輪が広がらないと思う。時間が足りなくなりそうだったので10分程度にしたら、広がり始めた頃に終わらせることになってしまった。もっと活動を絞るか、短時間に行ってもいいものにするか、ねらいをしっかりと厳選したほうがいいと思った。
- グループを作る活動では時間制限（「30秒で」とか「1分以内」に）とすると盛り上がる。「あなたは名探偵」では男子と女子が混合されるように「3人以上の異性と」とか「必ず男女交互に」などの条件を与えると無理なく交流できるのではないか。説明はできるだけ短く、活動に時間をかけるようにしたい。
- 「ふりかえりカード」の使用は、ねらいがどのくらいとらえられたのか確認でき、自分の感想も自由に書くことができ、声に出しては言えない考えなどが表現できるのでよいと思う。また、自分の気持ちを確認する意味でも有効だと思う。しかし、記入に時間がかかってしまい、45分授業で行うのはなかなか厳しい点に問題が残る。
- 活動にどうしても時間がとられ、振り返る時間があまりとれず残念であった。もう少し活動時間がとれれば、さらに深まりが出てくると思われるので、2時間設定やモジュール設定など、学校の実態に合わせてできるのではないかと。
- 「あなたは名探偵」では、時間を十分に確保することで様々な友達と交わることができた。振り返りをしっかり行うことで友達について広く深く知ることができると思う。

## 8 関連プログラム・参考文献等

### ◇ 関連プログラム

- ・「人間関係をつくる力を育てる指導援助プログラム（小・中・高等学校編）」  
福島県教育センター教育相談チーム編

### ◇ 参考文献

- ・「エンカウンターで学級が変わる 小学校編」 國分康孝監修 図書文化
- ・「楽しみながら信頼関係を築くゲーム集」 高久啓吾著 学事出版
- ・「対立がちからに グループづくりに生かせる体験学習のすすめ」  
ウイリアム・J・クレイドラー リサ・ファーロン著  
プロジェクトアドベンチャージャパン訳(みくに出版)







# あなたは名探偵

年 組 番  
名前[ ]

あなたはこのクラスの名探偵です。次の人をクラスの中からさがし出して、

- ① ジャンケンをする。
- ② 勝った人が質問し、当たったら名前を書いてもらう。
- ③ 負けた人が質問し、当たったら名前を書いてもらう。
- ④ あいさつをして、次の人と出会います。

時間内にたくさんの人をさがし出してください。  
ねらいは、クラスの人のことを知ることです。

NO	この人をさがせ???	相手の名前
1	3人きょうだいの人	
2	家で犬を飼っている人	
3	家から学校まで歩いて30分以上かかる人	
4	ケーキが大好きな人	
5	転校したことがある人	
6	早起きは苦手な人	
7	かめを飼っている人	
8	5年以上医者に行ったことがない人	
9	料理をするのが好きな人	
10	骨折したことがある人	
11	4月生まれの人	
12	ハリーポッターを読んだ人	
13	恥ずかしがりやの人	
14	少年ジャンプを愛読している人	
15	好きな教科は算数の人	
16	は虫類(ヘビや外カケ類)が苦手な人	
17	スポーツが好きな人	
18	外国に行ったことがある人	
19		
20		